

ビーミーっ子の丘の学校だより

笑顔いっぱい・歌ごえいっぱい・花いっぱい
地域の風がいきかう学校 三田市立ゆりのき台小学校

《ビーミーっ子を育てる！～お力添えありがとうございます～》

6月はそれぞれの学年で、体験学習がありました。給食センターの見学、平谷川探検、アイマスク・車いす体験など、実際に訪れたり、活動したりすることで実感を伴う学びができました。4年生はクリーンセンターの方にお越しいただき、パッカー車の見学をしたり、三田浄水場を見学させていただいたりしながら、自分たちの生活がどのように支えられているのかを学ぶことができました。これらの学習は実物を見たり、触れたりすることにより、実感を伴う学びとなります。タブレットで調べたり、映像を見たりして、知識を得ることはできますが、実感を伴った学びにはなりません。単なる知識は抜けやすいものでありますが、実物に触れて心が動いたことはよく覚えています。インターネットが普及した今、どこにいても学ぶことはできますが、学校はこのような実感を伴う学びができる場所です。これからも、様々な体験活動に取り組んでいきます。

そして、これらの活動を支えてくださっているのが、関係機関の方々、学習支援ボランティアを中心としたゆりのき台地域の方々です。学校の教職員だけではできない有意義な学びの場を作ってくださいしています。私たち学校職員も子どもたちも、そしておうちの方々も感謝の気持ちでいっぱいです。

6月21日（土）に地域活動協議会の「ゆりのき食堂」が開かれました。地域の方が学校で育てられたじゃがいもを使っておられました。ビーミーっ子を中心に70名ほどの参加がありました。また、翌週29日（日）には学校支援ボランティアの説明会がありました。休日を使って、地域の方々が地域の子どもたちを育てようと一生懸命に活動してくださっています。ご家族の用事や習い事など、それぞれのご家庭で忙しくされていることとは思いますが、このようにゆりのき台地域やビーミーっ子全体の子育てにも少し心を寄せていただけると嬉しいです。学校、保護者、地域で手を取り合って、ビーミーっ子の健やかな成長を見守っていただけたらと思う毎日です。

お力添えをくださっている皆様に感謝申し上げます。 学校長 松田 文貴



【給食はどうやって作られる？】



【平谷川に何があるかな？】



【水道の水はどこから？】



【アイマスクの友達を誘導】

《1学期のまとめをしよう ～7月の朝会にて～》

子どもたちは4月に学年やクラス、個人でそれぞれ「こんな〇年生になりたい。」との願いのもと、目標を立てました。そんな学年に、そんな自分になれているかを振り返ることが大切です。振り返りのない目標はその場の思い付きでしかありません。学校でも振り返りをしていますので、おうちでも「どうだった？」と一緒に振り返っていただけると嬉しいです。学校では「自分に、人に、周りのものに優しくしよう」と声をかけています。優しくできたか、ご家族で振り返ってみてください。

登校中におうちの方が旗当番をしてくださっています。気持ちよいあいさつをしてくださっている保護者の方がとても多いのですが、子どもたちがそれに応えられていないのが少し残念です。学校で「自分たちの安全を守ってくださっている方にありがとうございますの気持ちを込めて、あいさつをしよう。」と話をしています。ご家庭でもお声かけください。あいさつは人をつなぎます。相手のことを考えることができれば、多くの友達とつながることができます。気持ちよく毎日が過ごせますように。